

アニメのフォーラムを 英語コミュニケーションに用いた事例報告

木内英太*

1. はじめに

海外では日本のアニメに高い人気があり、新作アニメが日本で放送されると、たいてい24時間以内にファンサブというファンによる非公式の字幕がつけられて視聴されている⁽¹⁾。インターネットコミュニティにおいては、アニメ作品のタイトル、話数ごとにフォーラムができていて、世界各国のアニメファンが英語でチャットをしている⁽²⁾。筆者はこのアニメフォーラムを日本人学生が英語でコミュニケーションしようとする動機づけに使用できないだろうかと考へて専門ゼミナールのサブゼミにおいて試行している。うまくいった実践例を報告するまでの成果は上がっていないが、本稿では試みと問題点を述べる。

なお、フォーラムでのコメントは消えてしまっ
て現時点では見つけられないことが多いため、具
体的な URL を示せない例が多いことをご了承ください。

2. 日本の学校の海外での人気

日本の学校を紹介する映像が、海外において人気がある。数年前は日本人向けに日本語ナレーションが入る日本の学校紹介映像に海外からのコメントが大量について驚かれていたが、最近では留学生などが、日本の学校を撮影して各国の言葉で紹介

をしており、YouTubeなどで多くの日本の学校紹介作品が見られる⁽³⁾。

日本人から見たら何の変哲もない、ごく普通の学校の様子が海外で興味を持たれているのは、海外のアニメファンが、日本のアニメで見た不思議な日本の習慣が実際の学校でもそうなのか、を確認できるからである。日本の学校ではごく普通のこと
が、海外では意外に興味を持たれることが多い。

例えば、下駄箱である。学園ものアニメで、下駄箱で靴を履き替えるシーンは、好きな異性や気ま
ずくなっている友達との出会いや、下駄箱にラブレターやバレンタインデーのチョコレートが入っているのを見つけるシーンとして定番となっている。しかし、靴を上履きに履き替えるのは海外にはない習慣であり、海外のアニメファンは、実際に日本の学校の映像で、靴を履き替えるスチール製の下駄箱があることを確認して面白がるのである⁽⁴⁾。

日本人は何とも思わないが海外では関心を持たれる日本の学校の風習の例を他に挙げると、アニメの卒業式のシーンでバスケットボールのゴールが背景に見える、または、体育館にベルベット調の高級そうなカーテンがある、といった疑問がある。アニメで、例えば体育の授業中にさぼっている生徒がカーテンで遊んでいるシーンがあると、「なぜカーテンがそこにあるのか、実際の日本の学校には体育館にカーテンがあるのか」と海外のアニメファンは不思議に思う。日本では、体育館が講堂を兼ねていて各式典が同じ場所でもよおされていることを知らないの
である。

* 江戸川大学 マス・コミュニケーション学科准教授

こういった海外のアニメファンが持つ疑問は、インターネット上でアニメファンが集まるフォーラムで、何というアニメの第何話の何分何秒にこういうシーンがあるが、これは実際の日本の学校では普通のことなのか、それともそのアニメの世界だけでのことなのか（ピンクや紫の髪の毛の生徒が普通にいたりとか、魔法が使えるといった現実にはないアニメでの「お約束」と同じなのか）とコメントされる。現実の日本についてあまり知らない海外アニメファンが、アニメフォーラムを通して日本人に問いかけているのをしばしば見かける⁽⁵⁾。

3. アニメフォーラムを用いる利点

日本の文化や習慣について、海外のアニメファンがアニメフォーラムで問いかける状況を英語コミュニケーションの題材に使うことができれば、コミュニケーションする動機づけの効果が上がると考えている。そのメリットを挙げる。

○日本人大学生にとって答えやすい質問

日本の学校のことならば、日本で中学や高校生活を送った経験がある大学生ならば当然のように知っていることに対する質問に応じて答えるので、話題が決まっていないうフリートークよりもコミュニケーションをとりやすく、答えたい、教えてあげたいというモチベーションがあがる。

○チャット相手と趣味が一致する

アニメが好きな学生にとっては、海外から日本のアニメの質問があること自体が嬉しく思われる。海外でアニメの人気があることは知っていても、実際にアニメフォーラムの活況ぶりを見て、なんで外国人がこんなに（アニメの細かいことに）詳しいのですか、と驚く学生が多い。

○対面よりチャット

英会話の授業で、学生がやる気が出なくて困ることが多い。今の学生はSNSなどでインターネットでのコミュニケーションに慣れていて、人と直

接会話するよりもチャットのほうが心理的抵抗が少ない。また、チャットは数単語ほどの短いコメントでもいいので、ハードルが低く、気軽にとりかかりやすい。アニメのあるキャラクターがかわいい、というコメントには、自分もそう思うという同意にしても、自分はほかのキャラクターが好きだ、という意見にしても、チャットなら気恥ずかしく思わずにコメントができる。

などがあり、英語でコミュニケーションする動機づけとしてふさわしいと考えられる。

4. 問題点

しかし、ゼミナール内で実験的に行う段階ならいいが、英語教育のカリキュラムに組み込んで定期的に行うには様々な問題がある。以下、問題点を挙げる。

○タイミング

授業は決まった時間にあり、そのときに、うまく外国人からの日本についての質問があるとは限らない。日本人または日本文化に詳しい外国の人がすでに答えをコメントしていることもよくある。いま答えを知りたがっている人がインターネットの向こうにいるというアクチュアリティが重要なのだが、授業時にまだ答えがコメントされておらず、しかも日本人大学生なら答えられる疑問を発見することは滅多にない。

○海外のアニメファンが日本に詳しくなっている

上に挙げた例はいずれも数年前のことであり、現在ではアニメを視聴する外国人が日本にかなり詳しくなっている。例えば、2014年にスウェーデンに住むエリック・ブラッドフォードとオリビア・ベルイストロームという当時18歳のユニットが制作して、Youtubeやニコニコ動画にて現在も新作が発表され続けているアニメ作品「せんぱいクラブ」(図1)は、海外のアニメファンには日本の学園生活について、かなりの部分が「常



図1 せんぱいクラブ (DVDのジャケット)

識」であることを改めて知らせた⁽⁶⁾。

筆者が以前にフォーラムで見かけた、ふさわしい例を挙げる。ある学園アニメで、クラス分けが発表され、各クラスの生徒の名前がアイウエオ順に貼り出されているシーンがあった⁽⁷⁾。そこで「今野」という人が、加藤などの苗字よりも後に置かれていることについて、日本語を習っている

外国人から、なぜ「いまの」さんは加藤さんより後ろなのか、という疑問がコメントされていた。このように、日本語を学習中の外国人が疑問に思い、日本人大学生ならすぐに答えられるコメントを見つけるのが大変である。

学生は英語力の問題もあって、スラングが多いチャットをなかなか読みこなせずに、わかりやすい外国人のコメントを読んで「おもしろい」と感じるだけで、コメントを返すことがないままで終わってしまう。

○教育上ふさわしくない内容が学生に見られてしまう

「せんぱいクラブ」は、一般的な英語教育に用いられる無難な内容の映像と比べて明らかに学生が強く興味を持つ作品である。学生が効率よく英語を身につけられるか、といったことは度外視して、まず第一に英語を理解したいと感じてもらうための試みとして、「せんぱいクラブ」の日本語音声のセリフと英語字幕とを比較したことがある。図2～4は、遅刻しそうなヒロインが走っていて、



図2



図3



図4

人にぶつかってしまい怒っているシーンの一部である⁽⁸⁾。日本語音声では「バーカバーカバーカ……」と繰り返し言っているだけだが、英語字幕では彼女の怒りが長々と詳しく述べられている。

学生が英語字幕に何が書かれているかが気になり、きちんと読んで理解したいと思わせるシーンだ。この長い英語字幕は、彼女が遅刻しそうなことを思い出して走り去ってしまうため、文章が途中で終わってしまい英会話の実例とまでは言えないのだが、無難な内容の会話文をリピートさせる学習法では関心を持たずあまり効果が上がらない学生にとっては、英語学習への恐れを取り除くきっかけにはなると思われる。

しかし、ある学生が最も印象に残ったのは、ファックという言葉の実際の使い方だった⁽⁹⁾。

「せんぱいクラブ」のオープニングテーマの冒頭の歌詞が「糞！ファック！遅刻だ再び！」なので最も印象に残るのは自然なことだが、教育上の問題がある。

図5上部のローマ字字幕には「Fakku!」とあるが、下部の英語字幕にはその言葉は使われていない。つまり作者はその言葉が英語ではタブーであることをわかっていて、日本語のFakkuが英語のあの言葉であることがわかる人には笑えるギャグとしてうまく使っているのだが、学生にはそこまでわからないかもしれない⁽¹⁰⁾。

フォーラムでも学生には見せたくない過激なコメントが書かれていることがよくある。学生が興味を持つ面白い内容と、教育上ふさわしい題材とは、基本的に反比例するので難しい。



図5 「せんぱいクラブ」オープニングテーマの歌いだしの部分の画面

○アニメに詳しい学生でも答えにくい質問

普段からアニメを視聴している学生を選んでアニメフォーラムのチャットへの参加を試みているが、アニメを見る学生の中でも、日常系の萌えアニメのみ、SF的なバトルアニメのみ、腐女子的なアニメのみ、というように視聴する分野が異なる。日本で放映されているアニメをすべて視聴するのは不可能に近い。アニメファンの学生でも「このアニメは見ていない」ということが普通である。近年の海外のアニメファンは日本の常識をとくに知っていて、そのうえで重箱の隅をつつくような疑問を述べており、アニメに詳しい日本人学生でも原作の漫画やライトノベルを全巻は読んでいないので答えたくても答えられません、ということがあった。

○日本人が教えられないテーマ

数年前の話だが、あるアニメで登場人物がたい焼きを食べるシーンがあった⁽¹¹⁾。フォーラムで、この「ワッフル」は日本では一般的な食べ物なのか、という疑問があり、そうであるという答えがあった。そのあと、なぜ日本ではワッフルを魚の形にするのか、という疑問があった。なぜたい焼きのあの形態が全国的に広まって一般的になっているのか、を説明するのは難しい。

2015年11月の時点で「ワンパンマン」というアニメが放送されている⁽¹²⁾。その主人公の名前はサイタマという。地名の埼玉が由来であろうが、なぜサイタマというのかは、日本語でのサイタマという言葉の持つイメージを知っている人ならば、飄々とした目立たない外見の主人公と何か関係があるように感じるのだが、外国人にもそのことを理解できるように説明するとなるとうまく答えられない。日本人であるかどうかにかかわらず説明できない疑問では、英語コミュニケーション以前の問題になる。

5. まとめ

アニメのフォーラムで日本人学生に英語コミュニケーションをしてもらうことには、授業で用い

るには多くの条件があるが、うまくいけば、学生が詳しくすぐに答えられる内容なので、知りたがっている相手に教えてあげたい、という意欲がわき、英語でコミュニケーションをする動機づけとして効果があるといえる。

【注】

- (1) 以下、日本でテレビやインターネットで放送されるアニメーションを「アニメ」と表記する。
- (2) インターネットにおいては、「掲示板」とほぼ同じ意味で「forum」という言葉が使われる。
- (3) たとえば *japanese school* で検索して上位に来るサイト *Tour Of My Japanese High School!* (<https://www.youtube.com/watch?v=LklycoNBo9s>) ここにつけられたコメントには、
I came here to see if it looks like anime high schools. It does! I squealed XD
など、実際の学校の様子がアニメと同じであることを楽しむコメントがある（最終アクセス 2015 年 11 月 2 日）。
- (4) 以前、日本に行き下駄箱をこの目で見てみたいというコメントを見たことがある。
- (5) 世界の国々の特徴や歴史などをキャラ化した国々によって腐女子的要素も含めて表現した漫画をアニメ化した「ヘタリア」で、戦争中にドイツ人がドイツ人とはれないように変装してレストランでステーキを食べるが、ジャガイモをフォークの背中で押しつぶしてから食べるのでドイツ人とはれてしまう、というエピソードがあった。このとき、フォーラムでは「本当にドイツ人はそうするのが

普通ですか、教えてドイツ人」という疑問が英語でコメントされ、ドイツの人たちが「確かにそうします。これがドイツだけの習慣だと日本のアニメで初めて知りました」といったコメントが返されていたのを読んだことがある。日本のアニメなので日本のことだけが疑問が呈されるのではない。なお、これらのコメントは本稿執筆時には発見できなかった。

- (6) 「せんばいクラブ」の Episode 2, Part 1 では、「魔法少女まどか☆マギカ」などのアニメを制作しているシャフトというアニメ制作会社の作品のパロディがあったり、Episode 3 では、1980 年代のアニメのパロディをしたりと、大変にレベルが高い。
- (7) 2013 年に放送された「RDG レッドデータガール」というアニメである。
- (8) *Senpai Club* – Episode 1, Part 1 (https://www.youtube.com/watch?v=f_lrbcjvPA)
- (9) ヒロインの自己紹介の後の最初のセリフが「うわー、くそ、ファック、遅刻だ」である。可愛い外見のヒロインが予想外に下品な言葉を発するというギャグであろう。
- (10) アニメのファンサブは、歌のシーンでは各国語の翻訳字幕とともに、歌詞と、ファンが歌うためのローマ字字幕が載せられるのが一般的であり、チェンジ (change) を CHE・N・JI とするなど、ローマ字字幕では英単語が、歌いやすくするために日本語的な歌われ方に合わせた表記にされることがある。
- (11) 2006 年から 2007 年に放送された「Kanon」（京都アニメーション版）である。
- (12) 英語でのタイトルは *One Punch Man*。